

部局名	都市整備部			所属名	土木建設課			所属長名	森田 陽一			電 話	483-1151 内線3620		
-----	-------	--	--	-----	-------	--	--	------	-------	--	--	-----	-----------------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3307		事務事業名称	交通安全施設整備事業								短縮コード	経常	3307	臨時	3308
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	04	交通安全対策費				
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		道路法及び交通安全基本法									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
防護柵，道路照明灯，反射鏡等の交通安全施設の整備及び維持管理を実施することにより，市民の交通安全の確保と事故防止を図る。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして								
交通事故が発生している中で，通行の安全の確保と事故防止対策の必要性は増加する傾向にある。						大項目（節）	01	市民の安全								
						中 項 目	04	交通安全								
						小項目（施策）	02	道路交通環境の整備								
						細 項 目	01	交通安全施設の整備								
02	交通規制の促進															
				実施計画の計画事業												
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市道の交通安全施設							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 交通安全施設の整備及び維持補修							
	※平成22年度に計画していること： 交通安全施設の整備及び維持補修							
意図 （何を狙っているのか）	安全かつ円滑な交通の確保							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	・ 市が管理する道路延長		m	539, 080	539, 080	543, 879	543, 879
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	整備箇所の道路照明灯・道路反射鏡		基	32	25	30	33
	指標 2	整備箇所の防護柵長		m	56	185	2, 304	150
	指標 3	補修箇所の道路照明灯・道路反射鏡		箇所	364	364	507	507
成果指標	指標 1	安全対策を実施した箇所		箇所	452	574	2, 841	690
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3307	事務事業名称	交通安全施設整備事業			所属名	土木建設課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円			22,000	1,962	
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	55,310	55,306	54,138	50,900	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			交通安全施設整備費 10,075千円	交通安全施設整備工事費 30,125千円	交通安全施設整備工事費 577千円	交通安全施設整備工事費 27,111千円	
				交通安全施設維持補修費 22,246千円	交通安全施設維持管理委託費 4,377千円	交通安全施設維持管理委託費 56,700千円	交通安全施設維持管理委託費 4,587千円	
人件費(B)			千円	17,802.7	18,357.7	26,475.9	18,264.8	
トータルコスト(A)+(B)			千円	73,112.7	73,663.7	102,613.9	71,126.8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	交通安全施設の整備により市民の安全に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	今後とも市道の安全かつ円滑な交通を確保していくために必要である。				
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	道路法に道路管理者としての市の責務規定があるため。				
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	目的の変更はなく、現状の対象と意図で結果に結び付く事ができる。				
			☐ 見直す必要がある					
☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	市道の安全かつ円滑な交通を確保するため現時点では可能性がない。				
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
			☐ 臨時的任用職員等の活用					
			☐ I T化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法					
			☐ 2					
⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
		☐ ない						

コード	3307	事務事業名称	交通安全施設整備事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			市道の安全かつ円滑な交通が確保できるよう効率的な交通安全施設の整備を行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			市民の交通安全のために安全かつ円滑な整備を確保するには、経費の増加という課題があるが、事業効果は図られる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市民（自治会）及び議会からの交通安全施設の整備に関する要望が多い。									

所属長コメント	交通安全施設の整備により安全や機能性に配慮した市道を整備し、市民の生活道路として人にやさしい安全で安心して利用できる道路づくりを推進して参りたい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									